

Sサカエ 回転作業台

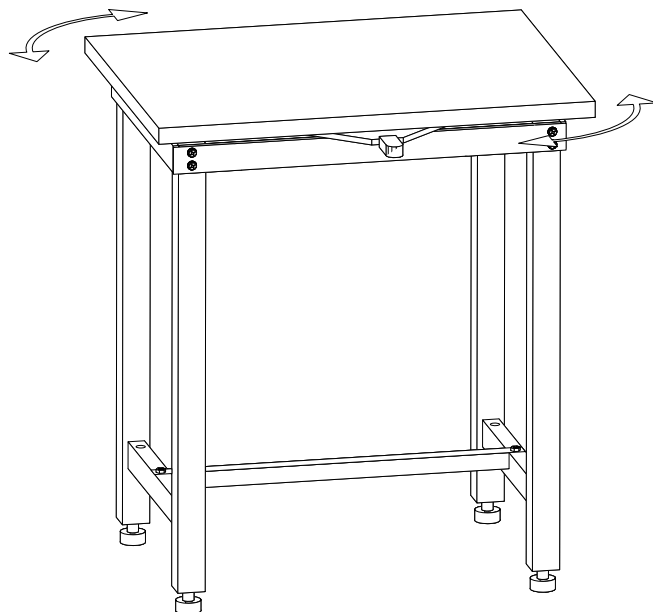
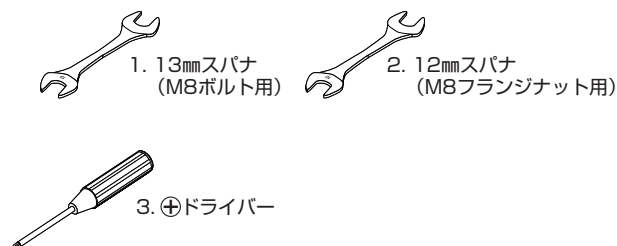
組立・取扱説明書

このたびは、回転作業台をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。塗装は粉体塗装でサビ・キズ等に強く、汚れも目立ちません。工場倉庫・店舗で、末永くご使用いただけます。

●1台あたりの最大荷重

天板の等分布耐荷重（天板全面に均等に物を置いた場合）	均等耐荷重
高さ固定式	150kg
高さ調整式	

●組立てにて必要な工具



積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
※「均等の耐荷重」とは、棚板の表面、または引出しの中へ均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計量をいいます。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や、他の人への危険や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

- 耐荷重以上の荷物を置かない。
テーブルが傾いたり、棚板が曲がったりして危険です。
- 足をかけたり、よじのぼったりしない。
転倒したり、棚板が破損したり、足を滑らせて、けがをするおそれがあります。
- 不安定な場所に置かない。
テーブルが倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。



注意

誤った使いかたをすると「損傷または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

- 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。
転倒や転落事故の原因になります。
- 使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直して下さい。
ゆるんだままで使用していると、変形や破損及び転倒などの原因となります。
- 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。
- 可動部の隙間に指を入れますと、指をはさむおそれがありますので絶対に入れないで下さい。
- 固定式作業台を引きずって移動しないで下さい。
床を傷つけたり、アジャスター破損の原因となります。また本体と床面等にガタツキがあるときは、アジャスターで水平に調整して下さい。
- この製品を移動するときは、載せてある物を全ておろし、天板を持ち複数でゆっくり持ち上げて行って下さい。
乱雑に扱うと破損や事故の原因となります。ただし、引出しのある物は鍵をかけ、鍵のないものについては、引出しを抜いて行って下さい。
- この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。
- この製品は、室内または屋内用です。
屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
- 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。
変色や変形の原因となります。
- 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。
変色や変形の原因となります。
- 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
- アジャスターは床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
- 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
- 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

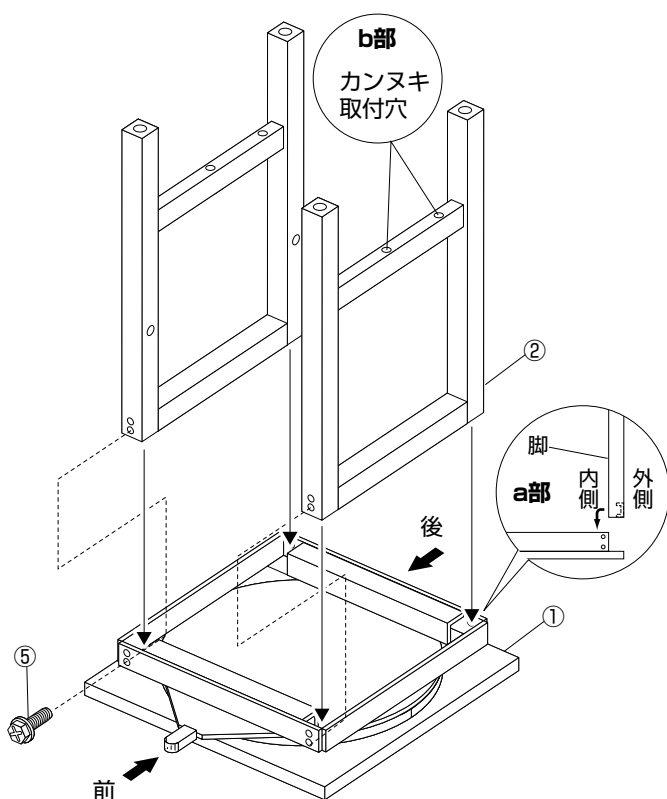
部品明細

番 号	品 名	数 量
①	天 板	1
②	脚フレーム（高さ調整式はスライド脚組付済）	2
③	カンヌキ	1
④	アジャスター	4
⑤	六角アブセットセムス (P-3)	M8×18L
⑥	六角ボルト	M8×65L
⑦	スプリングワッシャ	M8用
⑧	平ワッシャ	M8用
⑨	セレイト付フランジナット	M8

※六角アブセットセムス⑤は6本余ります。

●組立て方法

- ① 脚フレーム②を逆さにし、天板①の両端に差し込み、外側より六角アブセットセムス⑤8個で仮止めて下さい。（脚フレームの向きに注意して下さい。**a部**の脚フレームの向きと、**b部**のカンヌキ取付穴の方向に合わせて取付けて下さい。向きを間違えますとカンヌキ③が取付けられなくなります。）



組み立てるまえに

梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。
※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。

※組み立て時は、必ず軍手等の保護具を着用してください。

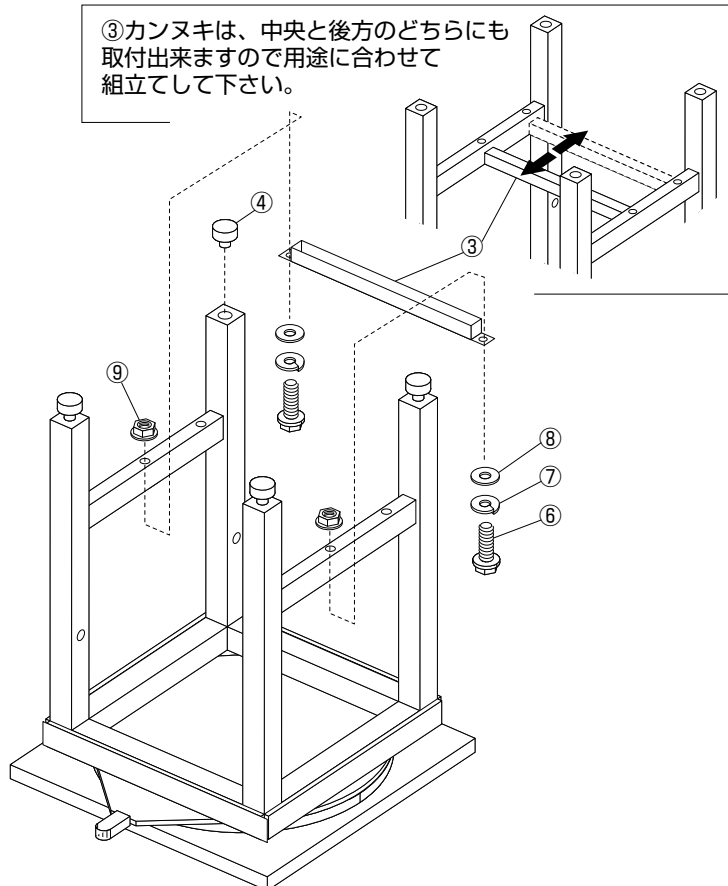
組み立てかた

■ひずみなく製品を組み立てるために

- 組み立て時は、ネジを軽く締めておきます。
- 完成後水平な場所に製品を立て、ひずみの矯正をしてから、ボルトを強く締めつけます。

- ② カンヌキ③を脚フレーム②に下から差し込み、六角ボルト⑥スプリングワッシャ⑦平ワッシャ⑧セレイト付フランジナット⑨で締め付けて下さい。その後、全てのボルト・ナットを外れない様に本締めして下さい。さらに、脚フレーム②の先端部にアジャスター④をねじ込んで下さい。

③カンヌキは、中央と後方のどちらにも取付出来ますので用途に合わせて組立てして下さい。



《高さ調整タイプについて》

脚フレームに取付けてありますスライド脚には目盛りが刻印されています。

0（最小）の所に合わせますとH760となります。200（最大）の所に合わせますとH960となります。目盛りが0～200の間で任意の高さに合わせてご使用になれます。

（調整方法）

まず脚フレームとスライド脚を固定している六角ボルトを軽くゆるめます。（ボルトは絶対にはずさないで下さい。故障の原因となります。）

スライド脚が動くようになりますので任意の高さに調整します。終わりましたら手でボルトを締め、仮止めします。全ての脚の調整が終わりましたら、スパナ等でしっかりと固定して下さい。（ゆるく締めますと荷重等でスライド脚が縮む恐れがあり大変危険です。）

